

土 地 利 用

本市は狭小な地形にあり、中央自動車道、鉄道、国道、桂川等により分断された土地の中ではありませんが、これらの条件を克服し健康で安全な住みやすいまちを目指していかねばなりません。

二十年後の都留市のあるべき姿を想定し、昨年発足した「まちづくり研究会」でこれについて充分論議していただき、後世に悔いの

残らない都市整備基本計画を策定してまいります。

また、市街地及び市街地周辺の土地の有効利用を図り、有機的な市街地形成を推進していくために本市においては、田原地区に駅舎の設置を含める中で、大学周辺が他のモデルとなるようなまちづくりを目指し、「区画整理事業」を促進しております。

また、山梨リニア実験線建設工事に伴い、排出される残土を利用した札金地区区画整理も同時に推進してまいるところであります。

さらに、豊かな人間環境の創造を理念とし、希少な土地と資源の高度利用を目指し、昭和六十二年度より「サン地開発事業」を推進してまいりました。

サンタウン玉川・サンタウン平栗団地に続き、平成五年完成に向けての井倉団地、平成六年の完成を目指しての大幡兵海戸団地など造成工事も順調に進捗しているところであります。

この外、戸沢・夏狩・田野倉・川茂・宮原など有休地・荒廃地などを活用して自然との調和を図りながら順次計画的に実施してまいります。

都市基盤の整備

市土の大半が山地である自然条件の中で、機能的で安全な道路網の整備を目指し、現在中央自動車道都留インターのフルインター化の積極的な推進と、国道一三九号線の渋滞緩和を図るためのバイパスを早期に完成すべく、鋭意努力しているところでありますが、これと並行して側道古川渡東桂線の三橋を整備し、もう一つのバイパス的な路線とするため、一昨年開通した城山大橋に続いて柄杓流橋の架橋を急いでいるところであります。昨年この事業が景気浮揚策として取り込まれることが決定し、これにより平成六年度の早い時期に完成できる見込みとなっております。

の対策を進めてまいります。

この他市民の日常生活や、社会経済などの諸活動に必要な不可欠な水道事業も、市民の皆様にご信頼していただく「充実した質の高い水道づくり」を実現してまいります。

環 境 整 備

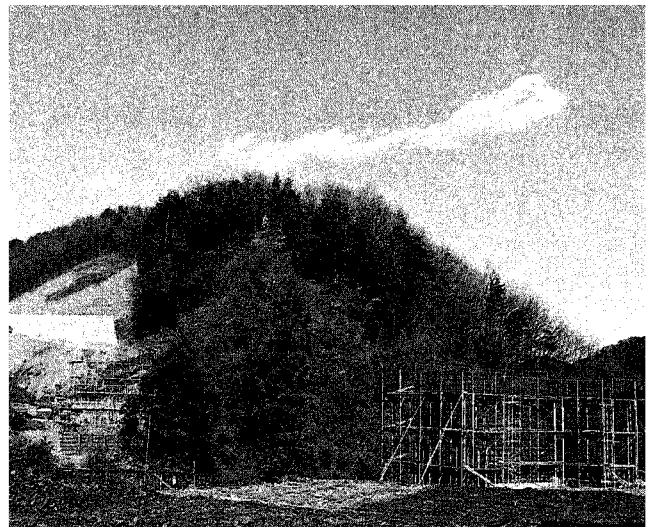
河川の水質汚濁の改善が今日の課題となっております。都留市・大月市・西桂町の二市一町で組織する桂川流域下水道は昨年、その事業が国において採択され、これにより本市の公共下水道も平成五年度中において、実施設計が可能となり一日も早い供用開始に向け努力してまいります。

また、社会構造の進展と変貌に伴い物品等の多様化が進み、ゴミの量は増加の一途をたどっております。

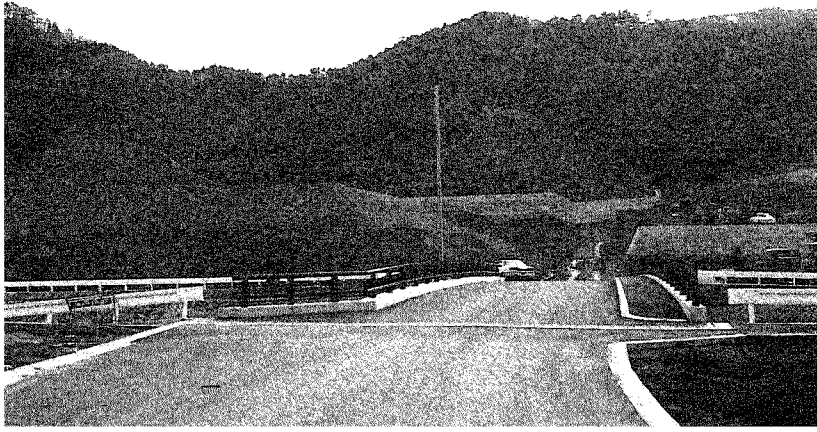
こうした状況下、本市におきましては、昨年各自治会の組長様方に環境美化協力員を委嘱し、ゴミ

ステーションの美化推進とその啓蒙に努めているところでありますが、昨年宝地区をモデル地区に指定し、ゴミ減量化対策推進委員会を設置して、自治会、PTA、婦人会、老人クラブ等のご協力をいただく中で、二カ月に一度資源ゴミの回収を行い、大きな成果を上げてまいりました。

本年こうした運動を全市的に推進していくとともに、今日の最大の課題であります粗大ゴミの取り扱いについて、市民の皆様のご協力とご理解を得る中で抜本的に改革してまいりたいと考えております。



平成6年度に完成予定の柄杓流橋



造成工事が進む大幡兵海戸団地